

鶴見区区政会議 平成29年度第1回防犯・防災部会

1 日時

平成29年6月23日（金） 18時58分～20時33分

2 場所

鶴見区役所 4階 402会議室

3 出席者

（委員）

宗宮部会長、山下副部会長、田中（泰）委員

（区役所）

河村区長、野村副区長、秋山地域活動支援課長代理、
前田地域活動支援課担当係長

4 議題

1. 平成29年度鶴見区区政会議の進め方について
2. 平成28年度鶴見区運営方針自己評価について
3. その他

5 議事

開会 19時00分

○前田地域活動支援課担当係長 それでは、ただいまから鶴見区区政会議、平成29年度第1回防犯・防災部会を開会いたします。

私、本日の司会を務めさせていただきます地域活動支援課担当係長の前田でございます。よろしくお願いいたします。

それでは開会に当たりまして河村区長からご挨拶申し上げます。よろしくお願いいたします。

○河村区長　皆さん、こんばんは。今日は第1回の防犯・防災部会ということでございますけども、夜遅くからお集まりいただきましてありがとうございます。

今日は委員の方々3名ということで、少し寂しい感がありますけども、その分ご発言いただく機会もいつもの倍あるのかなというふうに思いますので、ひとつよろしく願いいたします。

今日は28年度に鶴見区でやってきました、いろんな防犯・防災にかかわりますことの振り返りをして、今後の事業にまた活かしていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。

それと、ちょっと本題とは離れるんですけども、皆様のお手元に資料をお配りしているんですけども、その中に「つる魅力検定」と書いた資料があるかと思います。これは昨年の区政会議でもご議論いただいた部分なんですけども、今年「つる魅力検定」というのをやっていこうということになっておりまして、大体、年末年始あたりを予定しているんですけども、問題を、基本的には「発見つる魅力」であるとか、ホームページとか、そんなところからの出題を予定しているんですけども、皆様方から何かそういう出題のアイデアがあれば、ぜひ問題を提出していただくとありがたいなと思ひまして、問題例を後ろに書いていますけれども、もう10個でも20個でも結構でございますので、私しか知らない鶴見区の秘密みたいなものがありましたら、問題にしていただいて、ご提出いただくと非常にありがたいなと思っております。ぜひよろしく願いいたします。

もう一点、市のほうでは市政改革の一環として区政にかかわる市政改革のプランがつくられまして、今パブリックコメントがなされています。それは主に地域活動を今後どのように活性化していくかとか、改革といいますか、改善のことがいろいろ書かれているんですけども、それを今後区の運営方針にも反映していく場面があるかと思ひますので、また、その節には皆様方にご報告差し上げたいと思ひしております。

以上です。本日もよろしく願いいたします。

○前田地域活動支援課担当係長　それでは、これより議事進行を宗宮部会長にお願いいたします。部会長、よろしくお願いいたします。

○宗宮部会長　宗宮です。今日は初めての部会ということで、どうぞよろしくお願いいたします。ちょっと区長からありましたように3人ということで、寂しいんですけども、充実した会議をやっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、早速、事務局のほうから29年度の区政会議の進め方について、ご説明いただきたいと思います。

○前田地域活動支援課担当係長　それでは、座ってご説明させていただきたいと思います。平成29年度の鶴見区区政会議の進め方について資料に沿ってご説明いたします。

まず、資料1の平成29年度鶴見区区政会議スケジュール案をご覧ください。

まず、本日の第1回部会におきまして、平成28年度鶴見区運営方針の自己評価に関するご意見を部会ごとに頂戴したいと存じます。

7月中旬ごろに全体会を開催し、各部会で出されたご意見を共有するとともに、所属部会以外の項目につきましても、大局的な見地からご意見をいただきたいと思いますと考えております。

次に、9月の第2回部会では、来年度に新たに作成する区政運営の長期指針である将来ビジョンについての区長原案をご提示するとともに、来年度、平成30年度の区運営方針を作成するに当たりましての方向性を部会ごとにお示しいたしまして、委員の皆様のご意見をいただきたいと思いますと考えております。

現委員の皆様方の任期は、平成29年9月30日までとなっておりますので、10月には新しいメンバーの皆様によります全体会を開催いたしまして、平成29年度の区運営方針及び予算の説明をさせていただく予定としております。

その後、11月の第3回部会、12月の第3回全体会におきまして、平成30年度

区運営方針の素案及び将来ビジョンの素案に対するご意見をいただきたいと考えております。年度終盤の2月には第4回全体会として区政会議でのご意見を受け策定した区運営方針（案）及び将来ビジョン（案）、予算案についてのご説明をさせていただきます予定としております。

平成29年度の鶴見区区政会議の年間スケジュールにつきましてのご説明は以上でございます。

○宗宮部会長 今、ご説明いただきました29年度の区政会議のスケジュール、進め方につきまして、何かご質問、ご意見ございますか。

今のメンバーでの任期が9月末ということですので、28年度の評価、29年度に向けた基本的な素材になるようなところの議論をここで集中的にやって、バトンタッチという形になっていくかというふうに思うんですけども、こういったスケジュールで次へ引き渡していくというふうな流れなのかということですね。よろしいですか。

こういった進め方、区政会議のほう、今年度についてもよろしく願いいたします。

それでは、次に進めていきたいと思うんですけども、議題2、平成28年度鶴見区運営方針自己評価について、事務局のほうからご説明をお願いいたします。

○前田地域活動支援課担当係長 それでは、ご説明いたします。

平成28年度の鶴見区運営方針の自己評価についてでございますが、この自己評価は運営方針に記載の戦略と具体的取組につきまして、それぞれの目標の達成状況を点検し、有効性を評価することによりまして、必要な施策の改善、見直しを行い、平成29年度の取り組み、次年度の運営方針、予算編成への反映を図ることを目的に行っております。それでは、区役所が行いました自己評価のご説明の前に、本日お配りしております委員評価シートのご説明をさせていただきます。

本日、運営方針につきまして、区役所が行った自己評価についてご説明させていただきますが、昨年度に引き続きまして、今年度につきましても運営方針に記載している具体的取組について、委員の皆様から直接評価をいただきたいと考えております。

つきましては、本日の部会での説明をお聞きいただいた上で、この委員評価シートにより委員の皆様方ご自身で、具体的取組の評価を行っていただきたいと考えております。お忙しい皆様方に、いわば宿題をお願いするようなことで大変恐縮ではございますが、何とぞご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

それでは、委員評価シートの記入の仕方をご説明いたしますと、左の欄に区として目ざす状態を記載しております。その右に、具体的取組として、28年度中に実施した取り組みを載せておりますので、それぞれの取り組みにつきまして、記入例にあります、やや有効であったと思う場合は○、有効・有効でなかったのどちらとも言えない場合は△、有効でなかったと思う場合は×を記入していただきまして、具体的取組に対するご意見がある場合は、一番右の欄にご記入ください。

なお、評価に困られるような項目につきましては、バー、線を入れておいていただいても結構です。評価は部会が所管する経営課題を中心にわかる範囲でご記入いただければ結構ですので、お手数をおかけしますが、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

ご提出期限は、お忙しい中、大変申しわけございませんが、7月10日月曜日までとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、区役所が行った自己評価と28年度中に実施しました具体的取組のうち、主な項目につきましてご説明いたします。

資料3といたしまして、大阪市統一様式へ自己評価を追記いたしました平成28年度鶴見区運営方針を配布いたしておりますが、詳細にわたりますので本日は部会所管の課題につきまして、資料2、平成28年度鶴見区運営方針実績評価によりご説明させていただきます。

それでは、資料2をご覧ください。防犯・防災部会としまして、経営課題4の安全なまちづくりということでございます。4-1、街頭犯罪・交通事故の少ないまちづくりを目ざす状態といたしまして、安全で住みやすいまちと感じている区民を増やす

ということでございます。

戦略といたしましては、鶴見区の街頭犯罪発生件数の減少に向けました啓発活動を推進してまいるといところで、特に、自転車盗につきましては重点的に取り組むこととしております。

放置自転車を初めとしました自転車利用者のマナー向上など啓発活動に取り組んでまいりました。

裏のページをご覧くださいませでしょうか。地域・関係機関と連携しました防犯対策事業といたしまして、28年度の計画に対する実績をご説明いたします。

まず防犯カメラの設置でございますが、計画が30台に対しまして32台の設置をしてまいりまして、街頭犯罪の減少に寄与してまいりました。

防犯推進委員会を中心にした区内一斉防犯活動を毎月第2金曜日に行っております。これにつきましても、下校時の見守りを行い、不審者からの犯罪抑止となっていると思われま。

区役所、警察署、各地域防犯組織によります合同連絡会の実施を28年6月20日に行っております。情報交換を行いまして、意識の共有化を図ってまいりました。

自転車の2重ロックを推進するためにキャンペーンを12回実施しております。これにつきましては、庁舎の玄関前などでティッシュを配布したり、テープによる啓発を行いまして、自転車盗の減少に寄与してまいりました。

中学生防犯標語コンクールを実施いたしました。875件の申し込みがありまして、優秀な作品7点を表彰してまいりました。表彰作品につきましては、地下鉄の階段の蹴り上げ部分などで、通勤、通学者の目にとまるようなところで啓発を行っております。

また、29年度より広報つるみに、安全・安心通信といたしまして、警察、消防、区が情報を発信することで、区民に3者がタッグを組んで取り組んでいることをアピールいたしております。

それでは、次のページでございます。評価といたしましては、区で実施しています防犯事業を知っていると回答した区民の割合を50%以上と目標しましたが、結果といたしましては89.3%と回答をいただきました。

街頭犯罪の抑止に有効な防犯カメラの設置につきましては、各地域からの要望で32台の設置を行っております。

また、街頭犯罪の件数につきましては、前年に比べまして減少しておりますが、引き続きまして、関係機関と共同した取り組みや、広報紙、ホームページ、ツイッターやフェイスブックを活用した啓発活動が必要と考えております。

29年度の取り組みといたしましては、防犯カメラの設置を30台行ってまいりたいと思います。これにつきましては、5月末で締め切りまして、現在、精査を行っているところでございます。

防犯プレートの設置50枚、これにつきましても、昨年度の区政会議の場でご意見をいただき、大きさを2種類作成してまいりたいと思います。

防犯に関するバナーの設置ですが、秋をめどに7枚設置いたしまして、区役所庁舎前のバナーに設置してまいりたいと思います。

防犯推進委員会を中心にした区内一斉防犯活動につきましても、年12回開催してまいりたいと思います。

また、合同連絡会でございますが、来週6月26日に行います。

自転車の2重ロックにつきましても、キャンペーンを12回実施してまいります。

また、車上狙い被害をなくすための啓発を青パトや広報紙、SNSなどで発信してまいりたいと思っております。

経営課題全体としての評価総括ですが、防犯カメラの設置や自転車への鍵の取り付けキャンペーンなどの実施によりまして、街頭犯罪件数、自転車盗件数の抑制につながりました。平成28年12月末時点で、昨年と比べまして、街頭犯罪の件数は7%の減、自転車盗件数は6.1%の減となっております。

ここまでで、一旦ご意見等ございましたら、お伺いできますでしょうか。

○宗宮部会長 わかりました。安全なまちづくりということで、自転車盗を中心にマナーアップとかそういうことを図っていくということで、今報告あったんですけれども、何かお気づきなところありますか。

防犯の日の取り組みですね、これマンネリ化しているとか警察の協力が当初ほど熱心でなくなっているんじゃないかというようなことがあって、警察との防犯組織合同連絡会の中でまた意見を出していくというお話が以前にもあったと思うんですけれども、不幸な事件ですけれども、町会の役員をしていた方が、実際、子どもを殺めるといふような事件があったということで、世間の注目も浴びてきたといふようなことがありました。ああいうことが起こったときに何が抜けているのかと言えば、やはり特定の人、特定のグループに任せるといふようなことが一つあったのかなという感じをちょっと新聞等を読んでいて感じました。

ここで、鶴見区の取り組みは単一組織ではなくて、横断的に合同で取り組むと打ち出されていることは非常に大事なんじゃないかなというふうに思います。ぜひ、そういう意味で、地域間のばらつきの中で、ややもすると防犯推進委員に特定しているという地域もあるというふうなお話聞きましたので、ぜひそういうところですね、立ち上げのときに相当区役所のリーダーシップもあったというふうに聞いていますので、再度、各種団体のほうへの申し入れをしていただくということと、榎本地域なんかでちょっと思うんですが、団体でぐるっと一周たすきをかけて相当な人数で榎本は回っています。確かに警察との交流というのはいないんですよね。だから、毎回という必要はないですけれども、最後、交番に寄って警察官と一緒に福祉会館まで来て、その日のまとめをするなり、警察の情報をもろうとかいふような形で交流するとか、そういう特別な会議ということやなくて、日常の見守りの中で警察官に入ってもらおうということや大きめに捉えるんやなくて、日常の警らをついでに、地域がこういう活動しているのだというところへ同席してもらおうというようなかわりというふうなことも、

この合同会議の中で、例えばこういう声が出ているという形で提案していただくとか。うちの防犯なんかも駅前の交番へ行くのですが、そのとき、大概、夕方なので人おれへんというようなことですが、防犯の日がいつなんかということも警察も知っているわけですから、その辺の調整ができるのであれば毎回ノルマということじゃなくて、この日はそういうことがあるんだということで警察も協力してもらい、長い距離を団体に歩いた後、警察との交流ということが最後にあれば、やはりやっている人たちのやる気なんかも変わってくるというか、励みになったりなんかするんじゃないかなというふうには感じはしました。あと何かないですか。

○田中（泰）委員　　合同連絡会ですね、その実態私知らないですけども、各連合で代表どなたか、みんなが出ているのですか。

○前田地域活動支援課担当係長　　連合会長さんのほうにはご案内を差し上げております。

○田中（泰）委員　　そうなんですか。その話し合われた結果なんかも知らないのですけども、それはいただいていますか？

○秋山地域活動支援課長代理　　会議録というような形で、再度、各参加の委員の方にお返しとかまでは実際していません。

○田中（泰）委員　　できたら内容も知りたいかなと思うんですが。

○秋山地域活動支援課長代理　　わかりました。

○宗宮部会長　　せっかく地域のほうが防犯ということで毎月回っているという、かなり積極的な、よそなんかは年に1回、2回、例えば商店街とかそういうところが中心でというのは聞きますけども、鶴見区みたいに毎月地域が周っているというふうなところはやはり潰さない、マンネリ化という声がこの場に出ていたことについては、やはり克服するべきだと思いますし、そういう動きをぜひお願いしたいなというふうに思います。

○山下副部会長　　そうですね、マンネリ化していることによって、警察の協力する

意識というのがちょっと低下してしまう。もっと逆に言うと、この活動自体をブラッシュアップしていったら警察も黙ってられへんな、やはり行かなあかんというふうになっていくのかもしれないし、ちょっと事業として見直していく、ブラッシュアップしていく必要があるのかなと。そうしていくとより警察も協力していただけるような、気持ちになっていただけるのかなというのは思いますね。

○宗宮部会長 あと、この場に出ていた内容で、後の評価とも絡むかわかりませんが、バナーの設置やとかプレートの設置やとか、カメラの台数とか、相当、区政会議で出した内容を区役所としてとりあえずしていただいて、相当結果出していただいているのかなという感じはしています。あと、最後に車上狙いのことが入っていますので、そのあたりもうちょっと補足していただけますか。

○前田地域活動支援課担当係長 これにつきましては、現在、区役所で回っております青パトによります放送を行っております、特に車上狙い等また特殊詐欺なんかも一緒にちょっと最近回らせていただいているんですが、青パトによります周知だとか、広報紙に載せたり SNS で発信を行ってまいりたいと思います。

○宗宮部会長 そういった取り組みをしていただくということなんですけれども、車上狙いの被害というのが、今の状況で特にここを重点に当てていかなあかんというふうなところで動きがあったのかということもちょっと説明してほしいんですけれども。

○秋山地域活動支援課長代理 今回、大阪市で、今年度に入りましてなんですけれども、街頭犯罪の件数が全体的には減ってもきているんですけれども、やはり相変わらず政令指定都市の中ではワースト 1 というところがありまして、その原因ということでいくと、圧倒的に車上狙い、部品狙い、自転車盗、この 3 つが街頭犯罪 7 手口の 9 割を占めるということで、そこを今回、ワースト 2 と言われている名古屋とか、福岡とか、そこを抜くということで、これまでなかったんですけれども、取り組みの中で目標数値というのを 1 回出して、各区努力していかないかということとなっていま

す。

特に車上狙いは去年鶴見はそんなに増えてはないんですけど、大阪市的にはかなり増えていまして、そこがまず1点。あと自転車盗は減ってきていますけれど、自転車盗だけで街頭犯罪の6割ぐらいを鶴見区もずっと動いていますので、そこについては継続してやっていかないといけないかなと思っているところです。

何ができるかということになってくるんですけど、啓発がやはり区役所としては中心にはなってくるのかなと思うんですが、いろんな事業所なんかも含めて働きかけをしながら、広く車上狙いというところについても周知していきたいなと思っています。

○宗宮部会長 目標が50%以上あることに対して、結果89.3%というのは非常に高い内容として、これ自体成果を出しているということなんですけども、今秋山さんからありましたように、実際の犯罪件数が減っているということがなかったら、いくら評価が高くても結果が出ているとは必ずしも言えないということになるかと思っていますので、地域の取り組みをサポートしていくというところで、さらに力を入れていただきたいというふうに思います。

○山下副部会長 これ89.3%、逆に厳しいんと違うかなと、ここまで上がってくると厳しいん違うかなと。

○秋山地域活動支援課長代理 圧倒的に青色防犯パトロールの部分が多いんですけど。

○山下副部会長 という点において、何が、どういった活動がここまで引き上げていんのかというのが読めているのかどうか。

○秋山地域活動支援課長代理 それでいくと、青色防犯パトロールについては、地域においても週に何回か回ってもらってたり、区役所でいくと毎日動いているというところもあって、そこについてはかなり認知度が7割8割ぐらいあったかなと思っています。あとは2重ロックは、ここ2年ぐらいの取り組みにはなってきているんですけど、まだ認知度が低い。実際に街頭犯罪を減らす取り組みの中で、大きな割合

を占める自転車盗に対する取組みでありながら、実際には認知度が低いというところ
でいくと、いろいろ工夫せなあかんかなと思っています。

○山下副部長 逆に言うと、パーセント引き上げている青色防犯パトロール活動
に何かを、例えばマグネットのプレートに、それこそ車上狙いに注意しましょうとか
いう啓発というのを作って貼っつけちゃうとか。

○秋山地域活動支援課長代理 そうですね、車上狙い自体は実際もう付けているん
ですよ。41カ所になっていきますけど、防犯協力事業所にも添付というか、お願いし
ています。先ほどちょっと前田係長から申し上げましたけど、実際回る時にアナウン
ス、いろんな場面の、最近でいうと還付金詐欺なんかもしてしまして、そういうアナ
ウンスの種類を増やしたりしながら毎日動かしている車ではあるので、何らかそうい
う啓発とか周知につながらないかなというような動きはさせていただいているところ
です。

○山下副部長 一度、講習会、勉強会みたいな形で青パトの回り方みたいなんを
ちょっとやったことがあるんですけど、1カ所に5分ぐらいとまっておくのもいい方
法なんだよという話があった。駐留といいましたかね、何かそういうので、公園なり
学校の正門前に行ってとまっておいて、そういうことが徹底できたらいいなと。あと、
そのときに例えば青パト乗っている人間にティッシュ持たせてちょっと配らせればね、
それが手間になるとは思わないよね。別に配らんでもいいけど、ちょっと積んどいて、
見かけたらティッシュでも配って啓発の少しプラスになればいいか、そんなやり方も
あるし、青パトの回り方でも、はっきり言ってぐるぐる回っているだけ、それでも十
分結果は出ているのでいいのだろうと思うのですが、結果を出している活動だか
らこそ、もうちょっと使いようがあるというか、そこでいろいろ幅がでるんじゃない
かなと思うんですけどね。

○宗宮部長 この数字自体が高いから維持していくというのはそれなりに努力せ
んと、一遍高くなった数字を下げてしもたらもったいないというふうに思います。今、

山下さんからありましたように、先ほどの防犯の日も同じですけども、青パトも回るのが当たり前やとなったら、それがベースになって普通になってしまいますからね、今までなかったとか、よそでやってへんということで高い数字が出ているというやつを維持するためには、今アイデア出ましたけども、やっぱりそういう努力というのをしていかにへんかったら、そしてそれを維持するためにどんなふう新しいことをやっていくんかということはやっぱり常に入れとけへんかったら、せっかく89.3%までいったやつを、漫然としていたら下がってまうということになったらもったいないなという感じがしますね。よろしいですか。

○山下副部長 はい。

○宗宮部長 それでは、次お願いします。

○前田地域活動支援課担当係長 ありがとうございます。

それでは、続きまして、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業としまして実績を説明させていただきたいと思います。

子育て層への交通安全教室を行いまして、例えば12地域で行っております子育てサロンでつるりっぷや映像を見ながら、交差点での信号の待ち方なんかを学んでもらうということで注意喚起ができました。

また、高齢者への交通安全研修につきましても10月12日に行っております。園児へ交通安全教室ということで区内の幼稚園など3カ所で行いました。公園などに行く際の横断歩道の渡り方を体験していただきまして、交通安全に役立てることができました。

また、区内の学生と共同したマナーアップキャンペーンを行いました。

スケアードストレート学習につきましても、10月23日と12月14日に行いました。特に10月23日のスケアードストレートは、実際に鶴見緑地の中で行いましたので、いろんな方に見に来ていただきまして、事故の模擬体験ということで交通安全に寄与できました。

小学生交通安全絵画コンクールにつきましては、20件の申し込みで7点の優秀作品を表彰しております。この絵画につきましては、エレベーター横の掲示板だとか、今年度作りますティッシュの絵柄に採用させていただきたいと思っております。

また、転入者への駐輪場マップを配布しました。お手元にカラー刷りのものをお配りしております。これにつきましては、区政会議のご意見を受けまして、民間の駐輪場も入れております。また、白黒ではございますけれども、合わせてお配りしておりますのは駐輪場マップの改訂版ということで、今後、またその都度改めてまいりたいと思っております。

放置自転車の啓発活動といたしまして、区内の各駅のティッシュによる啓発活動を行ってまいりました。

それでは、次のページでございますが、交通安全に関する知識が高まったと感じる区民の割合が、目標60%以上に対しまして95.4%と評価をいただいております。交通事故防止や自転車マナーの向上を目ざし、28年度もスケアードストレート学習によります学習を2回行いました。また、29年度はさまざまな方法で、これの周知徹底を行います。

また、子育て層への交通安全教室を12回行ってまいります。

スケアードストレート学習につきましても、今年も2回行います。今の案としましては南地域と北地域で1回ずつ行ってまいります。

転入者への区内駐輪場マップについて、現在職員が外勤時にほかにも駐輪場がないかという掘り起こしを進めております。あればまた追加を、その都度行ってまいります。

放置自転車につきましても、引き続きキャンペーンを実施してまいります。

経営課題全体としての評価総括といたしまして、交通安全対策事業では、年齢層に合わせました講座や、スケアードストレート方式の学習会を実施するなど、効果的な事業となるように工夫いたしました結果、参加者アンケートでは多くの方から交通安

全に関する知識が高まったと回答いただきました。また、引き続きまして多くの方に参加いただけるような事業を実施してまいりたいと思います。よろしくお願いいたします。

これにつきましてのご意見ございますか。よろしくお願いいたします。

○宗宮部会長 今お話出てきました、地域・関係機関と連携した交通安全対策事業というところで何かございますか。

交通安全教室というのは地道な取り組みなので、これはきちっとしておくということで、子育て層や園児への取り組みというのが将来役に立ってくるだろうというふうなことをやろうというふうに思いますけれども、昨年やったスケアードストレート、一つは汎愛高校の中、一つがオープンで鶴見緑地ということで、区政会議の中で出た意見としては、せっかく鶴見緑地でやったのに、まだまだ見学者の掘り起こしが不十分なん違うかというのが出ていたと思います。ただ、中身としては、市バスが出て、スタントマンの演技が非常に迫真に迫って、また連合会長の方々が直接参加するということで、非常に見応えもあり、よい取り組みであったという評価があったと思いますので、ぜひ本年は区内北と南ということで、さらにオープンな場所での参加ということが計画されているようですから、ぜひ積極的に進めてもらいたいと思います。

それから小学生の絵画コンクールのこういう絵を利用していくということは非常に有効、親の関心が非常につながっていくということでいいことだと思いますので、ぜひ進めてもらいたい。駐輪場マップはもう今窓口のほうに置いてはるんですか。これからということ？

○前田地域活動支援課担当係長 転入者セットといたしまして、転入されてきた方にお配りしております。

○宗宮部会長 セットの中に入っているというような形。

○前田地域活動支援課担当係長 また改訂されたものにつきましては区のホームページにもアップしております。それが白黒でちょっと見づらいんですけども、そち

らカラーでホームページにございます。

○山下副部長 スケアードストレートはユーチューブにアップしてないんですね。次、機会あったらユーチューブにアップしといたら？ユーチューブにアップしているのかなと思って見たんだけど。

○河村区長 できるのかな。

○秋山地域活動支援課長代理 と思うんですけど、DVDの形では交通局からもらっているんですけど。

○山下副部長 あるんですか。

○秋山地域活動支援課長代理 ちょっと私がどうしたらいいのかと思いながら長いこと持ったままで、済みません。

○山下副部長 素材としてはあるんだ。

○秋山地域活動支援課長代理 はい。一応素材としてはもらいました。

○山下副部長 交通局から。

○秋山地域活動支援課長代理 はい。

○河村区長 そしたら明日載せたら？明日、月曜日に。

○秋山地域活動支援課長代理 広報に確認していいですか。済みません。どうしたらいいのかと思いながら4枚ぐらいに分かれているので。

○山下副部長 ユーチューブにそんなんありますよと言って宣伝する方法を考えてもええやろうし。

○秋山地域活動支援課長代理 はい。

○宗宮部会長 市バス活用してやっていますよいうのんで、次の年へもつなげてもらうようなそういう使い方を、ちょっとあざとらしいけども使っていったらええん違うかなという。

○山下副部長 交通局ともコネクションがそれもなっていけば、どんどんどんどん何か市バス使って何ができるかわからへんけど。

○宗宮部会長 トラックの荷台が市バスだという想定は、結構、想像力があるわけで、市バスが横にあったら物すごくわかりやすいという効果あったと思うんですよね。

○山下副部会長 毎日見ているもんですしね、実感として湧いてくるから。

○宗宮部会長 今、前田さんのお話の中にもあったんですけど、これ、マップの中を見ると、うちは10年以上の取り組みの中で放置自転車をなくそうというキャンペーンの中で駐輪場を地域の人が協力してつくってくれたという経緯がありますから、そういう意味で言ったらちょっと違うところがあるんかもわかれへんけど、もうちょっと民間の駐輪場ありそうなもんですよねけど、そこの掘り起こしはやっぱりできてないのかな。

○前田地域活動支援課担当係長 一応、そこに載せてあるのは、公募をいたしまして、応募があった業者さんなんですけれども、このほかにもあるかというところを外勤途中に見てまわっていますが、今のところ新しいところがなかなかないようです。

○山下副部会長 配る方法というのは、転入者に対してと言いましたね。

○前田地域活動支援課担当係長 はい。想定は転入者向きということで。

○山下副部会長 1階ということですね。

○前田地域活動支援課担当係長 区役所の窓口にも置かせていただいていたんですけども、今在庫がもうなくなった状態です。

○秋山地域活動支援課長代理 あとは、ホームページで一応出力できるようにはさせてもらっているんですけど。

○山下副部会長 逆に、放置自転車のキャンペーンのときに、これを簡易版でもいいですし、コピーしたものとかでも一緒に配ったらね、ひょっとしたら100人のうち1人でも、ああ、こんなところにあるんだったら借りようかっていう人が出てきたら。

○宗宮部会長 この「はなてんえきどっとこむ」というのは、昔、パチンコ屋さんやったところを駐輪場にしてくれてはるんやけど、最初はがらがらで、こんなんペイす

るんかいなというところから始まって、10年経って今もう満杯ですわ。コンスタントにお客さんが途切れないという状態になっていて、10年やっていて、こういう形で載せてもらえるということについてはものすごく喜んではりました。こんなことをして、商売にもならんと、何考えていんねんってパチンコ屋の持ち主に言われながら、とりあえず地域が放置自転車の対策で頑張っていんねんからやらせてくれということで始めて、もう完全に自転車でいっぱいになるというところまでいったやつを、10年頑張っって継続してきて、さらにこういう形で区の資料の中に載せてもらえているということで、取り組んできたことが一定認められているというような受けとめで、ものすごい喜んではります。

○山下副部長 逆に言うと足りない。どっか開発していったら？「駐輪場しませんか？」って。逆に言うとあれですよ、駐輪場を整備していくと自転車盗が減っていくというんですね。

○宗宮部長 ちゃんと管理下に入りますからね。

○山下副部長 放置自転車が当然泥棒に遭う機会が多いんだらうから、リンクしている部分どんどん進めていったほうがいいんでしょうね。

○宗宮部長 それからちょっと以前、関係部局へ伝えるというレベルでしか、やはり区としてはなかなか取り組みが難しいということなんですけど、自転車を積極的に活用できるような、自転車を中心にした道路政策とか、まちづくりというふうな観点で、要するに自転車を悪者にするんじゃなしに、赤バスがなくなった中で、自転車ってというのは交通手段として非常に有効になっているわけですから、そこをもうちょっと政策的に誘導していくっていうような自転車専用道がないというのは、やっぱり南北に自転車専用道を整備していくぐらいのことを持っていけへんかったらあかんの違うかなという感じはしますけどね。

○山下副部長 何か理想論ですけど、1台の自転車を昼間使う人と夜使う人とすみ分けできたらね。

○秋山地域活動支援課長代理 シェアみたいな？

○山下副部長 シェアできたらね、おもしろい。おもしろいというたらあれやけど。

○宗宮部長 行政が違うから、鴻池新田駅での取り組みというのはなかなか持ってこられへんのですが、あそこ市バスがなくなって、近鉄バスがなくなったタイミングでレンタサイクルをJR系の会社がやっているんですよね。かなりの利用数だということで、自転車なくなったりとかいうふうな話がレンタサイクルの場合は心配やとよく聞くんですけど、今でも続いているみたいやから、何とかペイしているん違うかな。そう思ったら、レンタサイクルのノウハウを鴻池新田のJRの関連会社は持っているということですよ。そんな話も、放出の駐輪場のサイカさんに一遍話したことあるんですけどね、それはもう言いつ放しで前へ行っていませんけども、レンタサイクル事業が乗れば、今、山下さんがおっしゃっているような形で、さらに交通移転対策というのができていきますよね。

○山下副部長 深江橋で一度レンタサイクルをどこか行政か何かの管理でやったことあったけど。地下鉄の上がった高架下ぐらいやったかな。昔やったかな、大分前の話ですけどね。

○宗宮部長 太成高校とか茨田東小学校の教職員は、鴻池新田のレンタサイクル乗っているんです。

○山下副部長 学生が駅まで乗って帰って、通勤の人が家まで乗って帰って、朝来て、うまいこと回ったらいいんでしょうけどね。

済みません。ちょっと話変わりますが、ここの評価に交通安全に関する知識が高まったと感じる区民の割合っていうふうにあるんですけども、これは別段知識が高まったって行動に移せなかったらどうしようもないんで、これ、ちょっとアンケートというか、質問の項目自体がどうなのかなと。だから、交通安全に関する、自らの行動がよくなったみたいなそういう感じなんですけど。知識なんて、当然赤信号無視し

たらあきませんよ、とかいうね、そういうものはあるし、だから、逆に言うと、質問内容がわからないですけども、評価の基準が、知識が高まったということであれば、結果として95.4%ぐらいいくのかなと。資料3の統一様式の中の評価基準がこういう文章になっているのかな。そこまで見なかった。

○河村区長　　同じ書き方しているんですけどね、確かにおっしゃるように知識が高まってもね、それが結果につながらへんかったら。

○山下副部長　　そうそう、やっても意味ないから。だから、評価の文章の中で「知識が高まった」を使うって、どうなの？みたいなですね。

○河村区長　　目標の立て方が、学習会とか、ストレート学習という目標に対してどういう効果があったのかという評価の仕方やから、こういう形に。

○山下副部長　　なるんですかね。研修会の内容自体も、じゃあ目新しいことやっているのって言ったら、どういうことやっているのか、僕らも、ごめんなさい行っていないし知らないから、内容をちょっと把握できないんですけども、通り一遍の当たり前の事をもし言っているんやったら、もうちょっとやっぱり、それが行動につながらないといけないし、案外、僕見ていて高校生のほうが交通ルール守っているようなケースが多かったです。そういうふうにするときがある。やっぱり忙しい人は交通ルールを無視する傾向にあるのか。時間も1分単位で時間争ってはるような人はね。それなら早よ起きろって言うたら、そんなかわいそうなこと言うのもあれなんですけど、交通ルールが守れるようになろうって思えるのかどうか。

○宗宮部長　　実際の目標の立て方としては難しいですけど、啓発活動によりマナーが高まったとか、啓発活動により、こういう結果が出ているでというところを本来ならば目的にするべきなのかもしれませんね。啓発活動の効果が上がったよというところではるということですけども、今、山下委員からあった話は、啓発をした、それによってどういう効果があったのか、なかったのか、啓発により知識が高まったやなしに、啓発により、こういうふうな安全な状況、交通安全というのが前にい

っているのですよというふうなところじゃないと、同義反復語になってしまうよねということなのかな。

○山下副部長　　そうですね。

○宗宮部会長　　よろしいですか。

○前田地域活動支援課担当係長　　スケアードストレートにつきまして、町会の班回覧だとか、小中学校で周知を行いまして、たくさんの方に来ていただくような工夫を行ってまいります。

○宗宮部会長　　そうですね。啓発を、地域のほうでも一生懸命やらせてもらいますので、ちょっと早目に教えていただいて、一緒にやっていきましょう。

○前田地域活動支援課担当係長　　よろしく願いいたします。

○宗宮部会長　　それでは、続けてお願いします。

○前田地域活動支援課担当係長　　それでは、4-2の災害に強いまちづくりです。目ざす状態といたしましては、地震・風水害等の災害に対する区全体の危機管理対応能力が向上していると感じている区民の割合を増やすということでございます。

戦略といたしましては、訓練などを通じまして、区全体の危機管理対応能力を向上させるということでございます。

地域の自主防災力の強化と強化のための支援を行ってまいりました。

また、自主防災組織によります防災活動が活発に行われるための仕組みづくりや支援も行ってまいりました。

では、次のページでございますが、区民の安全・安心を担う総合的な防災力の強化といたしまして、計画に対する実績をご説明いたしたいと思えます。

避難所の開設運営訓練等につきましては、お手元に1枚物のA4の紙をお配りしておりますが、防災学習を行った地域が5地域で、訓練を行った地域が7地域でございます。

次の鶴見区安全・安心フェスタにつきましては、鶴見緑地で行い、レクリエーショ

ンにこられた方へ遊びに来たついでに学習機会を設けることができました。実際に体験してもらうことにより、防災の啓発を行うことができました。

また、つるみんピックを鶴見緑地で行いましたが、つるみんピックに向けて、各地域のリーダーさんが自主練習をされるなど技術のレベルアップに寄与できたと思っております。

また、小中学生を対象とした防災学習会や出前講座を行いまして、災害に対する知識の向上や、いざというときの行動を学んでいただきました。

それでは、次のページでございますが、防災等に対する理解が高まったと感じる区民の割合が、目標の80%以上に対しまして、95.4%の評価をいただいております。

地域の自主防災力を強化するために、12地域で避難所開設運営訓練や、防災学習会を開催してまいりました。また、鶴見区安全・安心フェスタを鶴見緑地で開催いたしまして、参加体験型ブースを展開し、防災に関する知識の習得を行っていただきました。

今後も区民が防災についての知識を得て、有事の際には落ちついた行動ができるように、引き続き啓発を行ってまいりたいと思います。

そこで、29年度の取り組みといたしまして、避難所開設運営訓練の支援を行ってまいります。また、12月10日には安全・安心フェスタを開催してまいりたいと思います。

あと、来年の3月でございますが、第4回目のつるみんピックを実施したいと思っております。

防災講演会につきましては、安全・安心フェスタの場におきまして、防災士の資格をお持ちの講師をお招きしまして開催してまいりたいと思います。

小中学生を対象にした防災学習会や、出前講座につきましても随時行ってまいりたいと思います。

また、今年度、職員研修を行いまして、災害対策本部の班別研修を5月から行って
おります。本部職員の装備品につきましても充実させていきたいと思っておりますの
で、よろしくお願いいたします。

あと、鶴見商業高校におきまして、防災学習プログラムを実施してまいりたいと思
います。これは1年生の方を対象に、自助・共助、災害に対する知識を学んでいただ
きまして、現在1年生の方が2年生になられたときに、地域の訓練に参加していただ
くなど、避難所が開設されたときにボランティア活動につながるようにしていきたい
と思っております。

また、区の広報紙8月号に、毎年、防災特集ということで、特集を組ませていただ
いておりますほか、区のホームページや、SNSを通じまして、防災意識を高めてい
くような啓発を行ってまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

ここで、経営課題全体としての評価総括といたしまして、さまざまな取り組みによ
って防災等に対する理解は高まったと感じていただいておりますが、区全体の危機管理
能力が向上していると感じておられる区民の割合は依然として低くなっています。

災害に強いまちづくりに向けまして、地域の状況に応じた支援を行っていきますと
ともに、取り組みについて、より広く区民に情報を発信してまいることが必要
と思っております。

よろしくお願いいたします。

○宗宮部会長 区民の安全・安心を担う総合的な防災力の強化ということで、今、
区からありました内容につきまして、ご意見、ご質問をよろしくお願いいたします。

小中学生を対象にした防災ということで、区と地域とが学校と大きく連携を深めて、
ここ数年、大きく踏み出しているということで、着実な前進が見られているのではな
いかなというふうに思っています。土曜授業の活用ということでは、小中学校の協力、
理解というのが当然必要なんですけれども区役所が地域を連れていくというふうな形
で引き続き協力を広めていくということでやっていっていただきたいというふうに思

います。

12地域全体で避難所開設を旨ざしていくということで、これも区のほうで相当リーダーシップをとっていただいているというふうに思いますので、区全体としてレベルアップしていくということについては、成果を上げてきているというふうに思っておりますけれども、何か感じてはるところは。

○田中（泰）委員 土曜授業で防災に取り組むというのはとてもよくて、子どもには親がどうしても出てきはるんです。普通、地域の防災訓練では、やっぱり若い方なかなか出ていただけない。だから、土曜授業は若い方が出ていただくのにとってもいいやり方だと思っております。

そして、地域のほうも、土曜授業の取り組みのなかで、子どもさんにゲームをしてもらって、そういうのをあわせて取り組んでいたんですね。そしたら、それだけでいっぱいになってしまうので、地域の普通の避難訓練ができないということで、区役所さんのほうからは、もう1個別にやってくださいというような要望があります。安全・安心部会で相談した結果、それを、今年是一緒にやっしまおうということで、1部、2部、1部は土曜授業で、あとはその続きで各地域から避難していただいて、消防訓練なんかを1日でやっしまおうという計画で今年やっているんですけどもね、どうなるか。

○秋山地域活動支援課長代理 そうですね。多分、初めてだと思うので、1部、2部でやる地域っていうのが。

○田中（泰）委員 そうなんです。2日も嫌やって言わはるんですよ。

○秋山地域活動支援課長代理 そうでしょうね。茨田北地域におかれては、土曜授業の中で、防災リーダーさんのみじゃなくて、子ども会とか、各種団体、青指さんとかすごく幅広い範囲で携わってもらっているところが非常に大きいなと思っております。

○田中（泰）委員 町会長であつたりね、それから、はぐくみネットさんであつた

り、PTAさんなどが、教室に入って防災プログラムをやっていただいて、これは皆さん嫌がりはるんやないかなと思っていたんです、人を決めるときに。そうしたら、案外やりますという声が多くてすんなり決まったんです。また、教室入ってやらはると、またうまいことやらはるんです。子どもさんも熱心なんです。すごい発言もしはって、とてもよかったと思って、また今年もそれはやりますと。そうしたら、今のよりに普通がないのでと言われて。

○秋山地域活動支援課長代理　　ちょっとプログラムのそれで終わるのはもったいないなと思って。

○田中（泰）委員　　それも一番大事なことですよね。地域のほうから避難訓練やるのもね、要援護者の方の避難も考えないといけないので。それを余り防災訓練ではかわっていただけなかった役の方、民生、保護司の方、それから老人会の方にリーダーとなって進めていこうかなと思っております。頑張ろうと思っていますので、よろしく願いいたします。

○秋山地域活動支援課長代理　　また協力させていただきますので、よろしく願います。

○宗宮部会長　　榎本も小学校との連携ということでいうたら、小学校が独自にやらはる訓練に防災リーダーが参加するという形でしかできてないので、そういった意味では、今津やみどりや今の茨田北や、いろんなどころでいろんな特色持たせながら防災に対する取り組みを、まさに横串刺すような形で横断的に展開されているというのは非常にいいことやというふうに思います。

それと、やっぱり防災訓練、1回小学校に集まって避難所開設やというふうなことは大事なんですけど、その基本を押さえながら、例えばこの間の大雨やと、いつもの季節にない台風並みのやつがどっと来るというふうなことで、ゲリラ豪雨、この梅雨も問題になるかもわかりません。また、熊本の地震の後、大分にこの間地震があって、そういうふう近づいてくるというふうな可能性みたいなことを考えると、年に1回、

行事的に避難所に集まって防災やというのではなくて、その災害、災害に応じてどうしたらいいのかということをもみんなで考えていくというところへ内容も充実させていかなければならないやろうと思います。

榎本の会議の中では、雨降った場合には駅に行くというふうな打ち出し方をしたほうがええん違つかと。雨降って一番低い榎本小学校に集まれ言うててどうすんねんということが会議の中で自然に参加者の中から出てきて、防災リーダーのところへそういう意見が集まってくるというのは、やっぱり何年も防災訓練やってきて、単に防災言うたら僕はこうするもんやねんというところから、やっぱり自分の頭で考えて、自分はどう動けばいいのかというところを防災リーダーだけやなくてみんな集まったところでそういうことを議論していけるという状況になってきたというのは、長年取り組んできた中身やないかなというふうに思いますし、先ほど防災士の講演ということですけども、そういった意味では、消防や区役所の動きだけやなしに、そういうさまざまな災害に対してどう対応していったらいいのかというところをきちっと学習していくというふうな観点での防災の強化というのも必要になっているのかなというふうに感じます。

とりわけ鶴見商業高校へのプログラムの計画ということですけど、うちの地域、隣が汎愛ですから、ただ、うちの訓練でも高校生、中学生の力っていうのは非常に大事だというのは、実際に動いた中で皆さん共通の認識ですのでね、鶴商の実践というのがきつとすばらしいことになると思うので、広げていくというふうなことで、できるだけ鶴商の中身も経過も含めて地域で共有できるような形でぜひ進めていっていただきたいなと思います。

それと、つるみんピック、鶴見だけがこういうことやっているんやと思うんですけど、これ始めたときにはちょっとお遊び気分もということをやっているのかなと思ったんですけど、やっぱり防災リーダーの真面目な取組方、事前に練習をして、きちっと対応するという向き合い方を見たら、これはもうすばらしい取り組みやということ

を、今年見ていて改めて思います。内容をさらに工夫して、よそに誇れる取り組みなんだというふうに、鶴見区では定着したというふうに言っていいんじゃないかなと思います。

ほんまに、かつて名前だけの防災リーダーで町会長が熱心というふうな防災の取り組み、10年前、榎本もそうやったんですよね。要は、つるみんピックで防災リーダーが独自に何も言わなくても集まって練習しとるという姿見たら、本当に防災力の底力を上げるということでも、つるみんピックが果たしている役割というのは非常に評価していいのではないかなというふうに思いますね。

○山下副部長　　ここでは理解が高まったでいいと思います。

○前田地域活動支援課担当係長　　部会長おっしゃられたように、このつるみんピックの取り組みが、大阪市消防局のほうでも取り上げられまして、ひょっとして全市的なことに広まっていくんじゃないかなという、今度、鶴見消防署員が局のほうでレクチャーを行うということで聞いております。つるみんピックの前に練習に来られたリーダーさんの姿を見ていますと、本当に真剣にやられていまして、脱帽するような思いで、特に夜に行ったときがあるんです。昼間来られなかった方、夜に来られたんですけども、雨の中どれぐらい集まるかなと思っていたのですが、そんなに数は集まらなかったんですけども、来られた方、一生懸命されておったのがすごく印象に残っております。また、今後もよろしくお願いいたします。

○山下副部長　　ちなみに優勝目ざしはったんですか。それで練習して。

○田中（泰）委員　　そうです。練習はやってはりましたよ、何回も。

○山下副部長　　やっぱり目標になっている。

○田中（泰）委員　　そうですね、はい。

○山下副部長　　意味あることですよ。

○宗宮部長　　自主的にそういうことをしはるということは物すごい大事なことですよね。頼もしいですよ。そういうやりとりの中で、公園の中のプレハブの中にとど

んな物が置いてあって、どう使ったらええのかということが自然にやりとりになっているみたいですからね。

あとは、最後に区民に情報を発信していくということで、さっきのユーチューブの話もありましたけども、区役所のSNSを使った発信力というところでは、まだ若干課題があるようですから、その辺ちょっと克服していただいて、防災のときにも、できれば広報担当というのを専任で置いて広く発信していただくというふうなことは特にやっていただいたほうがいいんじゃないかなという感じがします。

それとHUGゲームも、うちは毎回入れているんですけども、運営ゲームやから小学生というふうにはならないのかもわかりませんが、これも一つ鶴見区の特徴として入れていくっていうこともあるのかなと思うんですけど。この間のツルラボのときに、今津のおにぎりの炊き出しとかね、茨田北のときも結構いろんなことを皆さんやってはるからおもしろかったですよね。

○秋山地域活動支援課長代理　そうですね。今年とか去年も含めていろいろと、地域のほうからも情報収集されて、こんなあるからやってみたいというようなことで、去年でいうと非常食というところに注目していただいて、パックスッキングということで、緑地域とか今津地域などで取り組んでいただいています。食べ物から入っているというのは、防災って言われたら難しいなと思っている方でも、切り口としてはおもしろいかなと思っているので、できたら広げたいなと考えているんですけど。

○山下副部長　この前、展示会行ってこられたんですか。

○宗宮部長　楽しかったですよ。

○秋山地域活動支援課長代理　フェイスブックに載っていましたね。

○宗宮部長　流行りがドローンと水害なんですね。地下鉄のところに水が入れへんように土のうとかいうのは今までもありますけども、土のうストッカーを公園へ置きましょう言うて、高槻市が置いているやつ、高槻市って記入された土のうと、土のうストッカーを展示していましたけどね。それが2ブースありました。

それと区内の鶴見ポンプが発泡スチロールの堰なんですけども、真空でエアポンプで抜いて密着するという、吸いつくような形にして、そこに水を入れて壁をつくって水が入ってこんようにするという。何か水害に対する、ゲリラ豪雨の影響でしょうね、水害に対するブースが今までと違って物すごく目立った。それから簡易ボートの展示とかね、あとは、やっぱり派手なのはドローンですね。それと防災のスピーカー、今、四方にトランペットみたいなのが並んでいるでしょう。傘を伏せたような形のやつ、ドライバーが上に一つあるんですね。今までやったら4つ必要やったでしょう。それが上に一つ置いて、ほんで傘みたいに下へ流していくという、こんなんあって当然やなど。何で今までなかったんやろうというようなアイデア商品とか結構あって、今までのトランペット型よりもはるかに届くんですよって自慢してはりましたけどね、見ていたらおもしろかったです。

そういうところで、何か気がつくみたいなことも結構ありますしね。非常食のほうは味つけのやつばかりで、ちょっと甘いやつが増えていて、防災のときにこんなん絶対飽きるよとか言っていたら、ブースの人は災害のときこそ甘いのが欲しなるからこれでええんですとかいろいろ言うてはりましたけど、おもしろかったですよ。

○山下副部長 おもしろそうですね。こんなんあるんや。教えてくれたらええのに。

○宗宮部長 そういう情報収集も結構おもしろいですよね。

○山下副部長 防災リーダーが行かなあかんとかいうことでもないし、一区民が行ったって全然オーケーなことですし、もうみんなで行こかっていうのが一番おもしろいん違います？情報がちゃんと末端まで届けばいいのかな。

○宗宮部長 あと、土曜授業も小学校、中学校との連携を深めていくということは非常に進んでいくということでもいいことなんですけども、校舎管理について学校の先生が、四六時中、学校の近くに住んでいるとは限らへんので、そのあたりの学校の避難所としての活用について、区がやっぱりリーダーシップとっていくということに

については喫緊に取り組んでいただきたいなというふうに思っています。

○田中（泰）委員 学校の件なんですけど、皆さん、町会の方は学校の鍵とかお持ちなんですか。

○宗宮部会長 榎本では、防災リーダーと連合町会長が持っているという形になります。門と講堂と防災倉庫。

○山下副部会長 いざというときはガラス割っていいってことになっているはずですよ。

○前田地域活動支援課担当係長 3組、学校からもらっていて、そのうち1組は区役所が保管しておりまして、あとの2組は地域のほうで管理していただいておりますので。

○田中（泰）委員 そうなんですか。

○前田地域活動支援課担当係長 はい。

○秋山地域活動支援課長代理 ちょっと今どなたがって言えないんですけど、確認はさせてもらっているんです。その中で、小学校は大体その地域で1つなんでいいんですけど、中学校、高校の鍵については、何でこの地域だけが持っているのかというような意見が出てきていますので、ちょっとそこはまた学校と相談しながら、増やすなりやっついていかないといけないと思っているところなんですけど。

○山下副部会長 ちなみに、うち連長みんな鍵持っていますけど、持ってないとやっぱりいろいろ都合が悪い。

○田中（泰）委員 そうですね。

○宗宮部会長 ということで、ちょっと通しでどうですか。よろしいですか。

○山下副部会長 そうですね、1個だけ気になる。一番最後のページの、さっき知識が高まったと感じる区民の割合の文章オーケーというものの、危機管理能力が向上していると感じている区民はやっぱり依然として低いと、ここだと思っんですね。ただ、危機管理能力なんてはかれないからここは無視していいかと思っんです。

なん向上しているかしてないか評価できんねんななんて、はっきり言うてむちゃな言い方しますが、これは無視していいと思います。

だから、いざというときに本当に動けるような体制をつくる。考えられるだけのことを考えるっていう方向性に持っていってもらえたら。区民が行政に期待することってというのはそこやと思うんで、この向上している、してないなんて気にすることはないと思いますね。

○田中（泰）委員 防災訓練に参加したら、本当に大事やなということがわかってもらえるみたいです。アンケート結果にもちゃんと出ているんですけどね、参加してもらおうこと、そこが問題ですね。どうしたらいいのかなと思っているんですけどね。

○秋山地域活動支援課長代理 市民局でも、切り口として防災訓練に参加してもらおうということで、新しいマンションの住民の参加について、1年間とかモデル地域でいろいろやったりもされているんですけど、やっぱりなかなか難しいみたいです。個別、各戸配布を行った区もあったんですけど、何ででしょうね。訓練に来られたら必要やと思ってもらえると思うし。

○田中（泰）委員 防災知識高まったとか、家で相談することもいろいろやりましたとか結果はあるんですけどね。来てもらうことですね、参加してもらうことが難しい。

○秋山地域活動支援課長代理 今回ツルラボという取り組みでも3回、まちづくりセンターの協力を得ながら防災についてやっていて、中にはそういうテーマもちょっと盛り込んでくれているので。

○田中（泰）委員 そうでしたね。だから口コミよっていう結果でしたからね、うちの班では。ツルラボで、なんぼ広報で発信しても、なんぼこれに強く書いてもなかなか来てくれはらへんと。やっぱり皆さん行きましようという口コミが一番大事かなということでしたよね、あのとき。努めていこうかなと思うんですけども。

○宗宮部会長 地域活動全般について言えることですよ、広報して知っているよ

というのと、行こかいうのは、行こかはね、やっぱり声がかかるとなかなか行かれへんのでね。

○田中（泰）委員　　そうですね。

○山下副部長　　これ、またすごい95.4%。もうないやん上っていう感じや。さっきの話なんやけど95.4%理解があるのに、来ている人が少ないっていうそのギャップですよ。

○田中（泰）委員　　行ったら結果は出る。行かない人をどうしたらいいか。

○山下副部長　　何やろな、実感がないというか、切迫感がないというか、間違いなく来るっていう認識がね、まあ来てもうちは大丈夫やみたいだね。

○田中（泰）委員　　そうですね。

○山下副部長　　耐震構造の建物なんかに住んではったら特にそうやと思いますけど、ただ、やっぱりライフラインがアウトになったらどうするんやとかそういう。

○田中（泰）委員　　地域同士のつながりが何かあったら一番大事ですねんけどね、だから何かにつけて出て行くという気持ちになっていただきたいんやけどね。なかなかね。

○山下副部長　　本当は、その人らは自分は何かをしてもらうというふうには思っていないって話やと思いますけども、地域の人間としてやっぱり力になってほしいって部分もあるんですよ。

○田中（泰）委員　　それもありますけどね、そこを言うとなかなか来られないみたいなので、とにかく来るだけでいいと。

○宗宮部長　　うちの参加の比率でも、やっぱり比較的、こんなん言ったらあかんのかもしれませんが、災害があった年がやっぱり多いですわ。二、三年すると減るという傾向があります。ただ、今言っただけは、マンション町会は管理組合等がしっかりしているところは、実際にはエレベーターとまってしまうし、水がなくなるから、結構備蓄とか、どういうふうに対応せなあかんのかってところでは、結構意

識高いというのがわかったんで、結構古いマンションでも独自に備蓄倉庫持ってはって、うちの地域の防災訓練の当日に朝いつもそのマンション独自の管理組合の訓練やってはるといったところもありますしね、そのマンション町会が、必ずしも地域の榎本小学校に来るといえることはないにしても、マンション独自でそういった備蓄やとか高層階の対策っていうのを何もしはらへんわけないですからね。その辺を結びつけていくっていうことをしていけば、防災の切り口として、マンション町会との連携もやっっていけるん違うかなと思ってのんですけどね。町会単位での最大動員が、今まで記録であったのが、榎本でのマンション町会ですからね、ごそっとまとめて100人や200人の単位で来はったことありましたからね。

○宗宮部会長　　かなりたくさんやりとりがあったんですけども、通しでよろしいですか。

○山下副部会長　　さっきの備蓄の話やけど、災害発生時の例えばイオンとか近隣のスーパーとか協定なんてできている？

○秋山地域活動支援課長代理　　大阪市的には、まずイオンとか大きい企業とはできていて、鶴見区ではコノミヤとも結んでいます。大阪市と結んでいるところでも、コノミヤは、店舗自体にかなりストックを置いてはるところやと聞いてますんで、近々区として話をさせてもらい、運び方等を具体的に詰めていきたいなと思っているんです。大手は逆にストックを多く持っていないので、そこについては大阪市を經由したルートとなります。

○山下副部会長　　コノミヤだけ。

○秋山地域活動支援課長代理　　大きいそういうスーパー的なとこでいくとコノミヤさん。

○山下副部会長　　生協なんて地域貢献が。

○秋山地域活動支援課長代理　　大阪市としてかなり協定の締結はやっているんですけど、区として個別に話、ルートの確認とかまでいけそうなのはコノミヤさんぐらい

かな。

○山下副部長 鶴見、本社ですよ。

○宗宮部長 そうですね。鶴見、本社ですね。実際にコノミヤがそういうことでしたら、コノミヤとコーセツが強奪に遭わへんように、うちの防犯がまず守りにいかなあかんとかね、地域の備蓄倉庫やねんというような、地域のほうはしてますよね。その辺で盛り上がるみたいなのところがあって、それ大事ですよ。要するに、そういうふうな協定した後、どう分けていくんか、単にありますがわって言ったってね、取り合えずもたらあかんわけで、どんなふうに分けていくんかというところを能力として持っていきへんかったらあかんということもあると思いますよね。

○山下副部長 難しいな、市として協定があっても、いざとなったときに、一々市にお伺い立てなあかんのかとか、そういうなってますよね。

○秋山地域活動支援課長代理 市がルートを確認し、届くという形に。

○山下副部長 そこをぐいぐいと割り込みして。

○秋山地域活動支援課長代理 ぐいぐいと割り込めるんかな、ちょっと1回。

○宗宮部長 店舗があって、備蓄があるということは、その周辺いうところでどう対応していくのかという、考え方としては、災害時のときには備蓄ということなんですよという、協定があったとしても、それをどう活かしていくのかっていうのは詰めが絶対要りますからね。

○山下副部長 協定があるものの動けへん言うたらあほみたいやし、それが区役所として落とし込めるのか、それとも地域、ぶっちゃけもっと極端な話したら、役所のほうが本当、さっきは危機管理能力がちゃんとすると言うたもんの、動かないことも考えられるんで、地域と近隣スーパーとの協定を橋渡ししてもらおうとか、そういうことをしていかないとね、実際、本当に起こったときについていうことを考えるとやっぱり間は少ないほうがいいのかも。

○宗宮部長 津波にさらわれたとか別ですけど、神戸のときも思ったんですよ、

熊本もそうやったんですけど、要するに物流がとまるということなんですよね。それをいうたらどうすんのかということで、僕、神戸のボランティアの経験であるんですけど、とにかく小っちゃい公園で、大きいところはそれなりに運営できるんですけどね、小っちゃい公園で町内会がないところは、配れるだけの数来なかったらもめるからってほかしてる。もう何か悲惨な状況がありましたよね。ボランティアに入ったら、公園におる人数であんたら炊き出ししようと思ってはるんやろうけども、この3倍おんねんと、壊れた家に住んでるのが。それをいうたら面倒見られるだけの食数を確保するんやったらやってもらいたいけど、公園の中の人数だけで炊き出しや言うて来はんねんやったら、あともめるから迷惑やという言われ方しました。やっぱりシミュレーションするとき、そういう流れがどうなっていくんかというのをちゃんと見なかったらでけへんのですよね。

大事なんは、町会のあるところはうまいこと分配したり管理したり、こられなくなったら次ここやでという、そういう能力はあるんやけど、町内会ない公園、無政府状態のところというのは、結局もめごと起こらんよにということ、そういうことになってしまうっていうことがやっぱりあるんですよね。僕、それで町会に対する認識がそこで変わった。神戸で、ああ大事やなど。

○山下副部長　　という話をきっちりお願いします。

○宗宮部長　　よろしいですか。また今日出してもらったやつは全体会の中で反映させていくっていう形でまた報告させていただきたいと思います。

それでは、事務局のほうから、そのほかの連絡等ありましたら、よろしく願いいたします。

○石川区政企画担当係長　　1点済みません。区政企画担当の石川と申します。私のほうから区政会議の次期委員の募集についてのご報告をさせていただきたいと思えます。ご存じのとおり、現在の委員の皆様につきましては、公募委員の方も含めまして、9月30日までが任期となっております。つきましては、次期区政会議につきまして

も、区政会議委員の募集を行ってまいりたいと考えております。本日、募集要項をA3横長の分お送りさせていただいておりますが、委員の募集期間につきましては、7月1日から31日の間とさせていただいております。詳細につきましては、こちらのほうに記載させていただいておりますので、ご覧いただけたらと存じます。

私からの報告は以上です。よろしく申し上げます。

○宗宮部会長 事務局からの連絡は以上ですか。アンケートは先ほど言ってもらった内容なんですか。

○前田地域活動支援課担当係長 1枚物で区政会議に関するアンケートをお配りさせていただいておるんです。その件でございますか。先そちら説明させていただきたいと思います。

こちらにつきましても、ご協力お願いしたいんですけども、ご提出のほうは、本日も後日の評価シートとあわせてでもご提出のほうは結構でございます。

アンケートに関しまして、ほか何かご質問ございますでしょうか。

○宗宮部会長 この冒頭のアンケートは、これ評価シートのほうは前年のやつと変わりましたか。何かぱっと見た印象で、僕のかかわり方が変わったのかな。去年ものすごく答えにくいなと思ったんやけど、今年は何とか答えられるなと思って見たんやけど。

○石川区政企画担当係長 委員評価シートにつきましては、お答えいただける範囲で結構です。冒頭説明させていただきましたとおり、わかる範囲で書いていただきまして、7月10日までに、申し訳ございませんが総務課までご提出をいただきたいと思っております。提出方法につきましては、メールでもファクスでも郵送でもご持参いただくなどどのような方法でも結構です。お声かけていただきましたら取りにも伺わせていただきますので、ご協力よろしくお願いたします。

また、区政会議の委員の皆様アンケートA4、1枚物のものを机の上に置かせていただいております。そちらにつきましては、本日書いていただいております。

でも結構ですし、委員評価シートと一緒にご提出をいただいても結構でございます。
こちらもおわせてのご協力をお願いします。

最後、すみません。A4横書きで次回の全体会の日程調整表も置かせていただいておりますので、そちらは申し訳ないんですが、今日わかる範囲で結構でございますので、○×をつけていただいて机の上に置いて帰っていただければありがたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。日程は月曜日が最終の部会になっておりますので、そちらの時点で確定いたしましたら、またメールないしお電話でご連絡をさせていただきますので、よろしくお願いたします。

○宗宮部会長 連絡は以上ですか。

○前田地域活動支援課担当係長 はい。事務局からは以上でございます。

○宗宮部会長 それでは、今、連絡の内容についてはよろしいですか。

○山下副部会長 大丈夫です。

○宗宮部会長 日程表だけ置いとくということと、アンケートとこの評価シートについては7月10日までということですので、よろしくをお願いします。

それでは、本日予定されておる内容については、これで全て終了ということになりますけれども、最後また区長のほうからご挨拶いただきます。

○河村区長 ありがとうございます。今日は少ない人数ながらも充実した意見交換と申しますか、提案をいただけたのかなというふうに思っております。

最初も申しましたように、くしくもと申しますか、タイムリーに月曜が防犯の合同勉強会、来週月曜日にありますので、今日いただいた意見なんかもそこに反映して、地域の見守りマンネリ化にならないように、警察の協力がどのように得られるかとか、また田中委員におっしゃっていただきましたように、その結果をまた地域の皆様方にフィードバックできるように持っていきたいというふうに考えております。

また、交通安全とか、防災についてもいろいろ貴重なご意見をいただきましたので、できるものについては積極的に反映していきたいというふうに思っております。スー

パーとの連携とかそういったものもできるところから、別にあれダブってもかまへんの。

○秋山地域活動支援課長代理　　と思いますが。

○河村区長　　また、そういったものもやってまいりたいと思います。よろしく願いします。ありがとうございました。

○宗宮部会長　　ありがとうございました。

それでは、第1回鶴見区防犯・防災部会については、これで終わっていきたいと思います。本日どうも長い時間ありがとうございました。

閉会　　20時33分